

野菜産地強化計画一覧

※目標年度：R6

策定年度	No.	計画主体	品目	栽培面積 (ha)		出荷量 (トン)		取組戦略タイプ※
				現状	目標	現状	目標	
R3策定 (18計画)	1	JAふじ伊豆(伊豆の国地区本部)	トマト	19	17	2,148	2,450	資
	2	JAふじ伊豆(三島函南地区本部)	トマト	13	13	853	861	コ
	3	JAふじ伊豆	馬鈴薯	25	25	502	629	加
	4	JA大井川	トマト	17	17	451	451	付
	5	JA大井川	みつば	12	12	270	270	契
	6	JA遠州中央	冬キャベツ	86	94	2,948	3,525	加
	7	JA遠州中央	ちんげんさい	3	3	284	284	資
	8	JA遠州中央	冬春トマト	9	9	286	290	付契
	9	JA遠州夢咲	春夏にんじん	28	28	728	728	付契
	10	JA遠州夢咲	トマト	22	22	2,492	2,600	コ資
	11	JAとびあ浜松	セルリー	68	58	4,688	4,431	資
	12	JAとびあ浜松	たまねぎ	245	245	9,820	9,850	付
	13	JAとびあ浜松	ちんげんさい	209	215	4,764	4,800	付
	14	JAとびあ浜松	ばれいしょ	157	155	3,971	5,000	付
	15	JAとびあ浜松	ブロッコリー	13	14	218	220	加
	16	JAとびあ浜松	みつば	67	66	839	840	契
	17	JA三方原開拓	ばれいしょ	3	3	45	45	資
	18	(株)アイファーム	ブロッコリー	130	150	1,300	1,500	付
R4策定 (18計画)	19	JAふじ伊豆	冬レタス	32	32	981	986	コ
	20	JA大井川	冬レタス	90	110	3,000	3,300	コ資
	21	JAハイナン	冬レタス	140	140	4,478	4,500	コ資加
	22	JAハイナン	サニーレタス	13	14	270	290	コ資
	23	JAハイナン	秋冬だいこん	30	30	2,000	2,100	資
	24	JA遠州夢咲	冬レタス	34	33	1,200	1,100	契
	25	JA遠州夢咲	メキャベツ	24	19	280	230	コ
	26	JA掛川市	冬レタス	5	6	110	150	コ
	27	JA遠州中央	秋冬ネギ	62	60	940	1,080	資
	28	JA遠州中央	冬レタス	78	78	2,658	2,700	コ資
	29	JA遠州中央	サトイモ	20	20	315	330	契
	30	JAとびあ浜松	冬レタス	20	20	499	500	契
	31	JAとびあ浜松	葉ねぎ	157	158	3,279	3,400	付
	32	JAとびあ浜松	トマト	7	7	450	480	付
	33	JAとびあ浜松	シュクレトマト	5	6	67	68	付
	34	JAとびあ浜松	冬キャベツ	121	120	5,489	6,000	加
	35	JA三方原開拓	冬レタス	0	0	1	1	資
	36	大西辰幸((株)Veggy)	冬レタス	21	23	360	400	コ契
合計				1,985	2,023	62,984	66,389	

※付：高付加価値化タイプ、コ：低コスト化タイプ、資：資材低減タイプ、加：加工・業務用推進タイプ、契：契約取引推進タイプ

取組戦略タイプ名	取組内容
低コスト化タイプ	輸入野菜にコスト面でも対抗しうる産地とするため、生産・流通コストの削減等を目標とする更なる低コスト化の取組。
契約取引推進タイプ	実需者のニーズに応えつつ、安定した経営を確保するため、定量、定価、定時、定質による契約取引の継続・拡大等の取組。
高付加価値化タイプ	消費者・実需者ニーズに対応して、品質、機能性、安全・安心、鮮度などの観点から差別化・付加価値化した野菜を供給する取組。
資材低減タイプ	資源循環型の持続可能な産地とするため、効率的な施肥体系への転換等を行い肥料、燃油その他資材の使用を抑制する取組。
加工・業務用推進タイプ	加工・業務用需要に対応した生産の拡大を図るために、実需者ニーズを踏まえて、加工・業務用野菜を安定供給する取組。